

住宅とフローリング その2

Vol. 18

P

第18号のポイント

1. 3層構造のフローリングだと狂いが少なく強度も増す！
2. スウェーデン本国での保証は、なんと30年！
3. 無垢材は何十年と使うことで独特の魅力が出てくる。

?

筆者プロフィール

金井田晃央(かないだあきお)
 1975年 群馬県生まれ
 日本大学大学院(建築・構造)を卒業後、スウェーデンへ渡る。
 スウェーデンで住宅・建材の輸出マネージャーを10年間務める。
 河本工業の次世代型住宅である“Komoto Hus”(河本ヒュース)の開発メンバーに携わる一人。
 スウェーデン住宅・建材・家具等の輸入手配を主に担当している。
 筆者ホームページ：
<http://mala-gruppen.com>



上層材が4mm厚で幅が205mmもあるフローリング(左:クルミ材/右上:オーク材)

Hejsan！今回はスウェーデンの積層材のフローリングについてお話します。積層材は、ほとんどが上・中・下の3層構造となっていて、上層材に仕上げ用の無垢材が使われます。中・下層材には、パインやスプルースなど一般的な材が用いられ、それぞれ繊維方向が直角になるよう重ねられています。こうすることで、無垢材に比べ、狂いが大幅に少なく、強度も増します。しかも、上層材を変えるだけで、様々な樹種のフローリングを、同じ性能で価格も安く作り出すこともできるのです！

積層材の性能と価格は、上層材の厚みでも変わります。一般的なものは、フローリングの厚みが15mmに対し、上層材の厚みが3.6mmあります。この厚みであれば、3~4回は表面を削ぎ落とし、リニューアルできます。スウェーデン本国での保証も、なんと30年！・・・レベルが違います。このフローリングは、上層材が4mm厚のクルミ材で幅は205mmもあります。高価ですが、性能と質感も高いです・・・。

同じ積層材でも、フローリングの厚みが7mmで、上層材が0.6mmのものもあります。この場合、上層材はとても薄い板(突き板)のため、表面を削ぎ落とすはできませんが、それでも、保証は12年！つまり実際はもっともっと長く使っていただける性能ということです。価格は安くなります。

上層材によく使われるのは、オーク材、アッシュ材、桜材、クルミ材、白樺材、メープル材などです。「無垢材は何十年と使うことで独特の魅力が出てくる」・・・これがスウェーデンのフローリングづくりです。次回は、豊かな空間を演出するスウェーデンの造作材をご紹介します。お楽しみに！

文責 金井田晃央 (筆者へのお問い合わせ先: info@mala-gruppen.com)

Innovatio : イノベーションとは、これまでのもの、仕組みなどに対して、全く新しい考え方や技術を取り入れて新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化を起すこと。